

一步先を見据えて 市町村とともに

PROFILE

Yamaguchi Noriaki

平成 6年 4月	自治省採用 行政局公務員部公務員課
平成 8年 4月	北海道市町村課
平成10年 4月	行政局行政課
平成12年 4月	大臣官房総務課秘書係長
平成13年 1月	総務省大臣官房秘書課秘書第二係長
平成14年 8月	自治行政局行政課行政第三係長
平成15年 4月	自治行政局行政課行政第二係長
平成16年 4月	自治行政局行政課行政第一係長
平成20年 4月	南城市政策調整監
平成22年 4月	自治行政局行政課主幹 併任 自治行政局行政課総務室課長補佐
平成25年 4月	徳島県保健福祉部福祉こども局こども未来課長
平成26年 4月	現 職

徳島県政策創造部
地方創生局市町村課長

山口 憲明

平成 6年入省



とある一週間

月曜日

とある町の副町長さんが来課され、同町の来年度新規事業の財源について協議

火曜日

県議会・総務委員会に出席し、若者向け選挙啓発の取組内容について答弁

水曜日

知事・市町村長地域懇話会に出席し、市町村長の皆さんと忌憚のない意見交換

木曜日

総務省に出張し、市町村の財政状況などについて自治財政局に説明

金曜日

市町村役場を訪問し、副市町村長さんなどに県の新規事業への協力を依頼

市町村が元気であり続けるために

徳島県には、葉っぱビジネスで有名な上勝町をはじめ、サテライトオフィスの誘致が進む神山町や美波町など24の市町村があります。市町村課の役割は、住民に最も身近な市町村がしっかりとした行財政運営を行い、個性豊かで魅力ある地域社会を実現することができるよう支援していくことです。最近では、地方創生に積極的な市町村に対して交付金と併せて専門的なアドバイザーを派遣する制度の創設や、市町村の職員が時間と場所を選ばずに仕事ができるようになるためのテレワークに関する研究といった、時代の要請に対応した新しい取組を進めています。小規模な市町村が多い徳島県においては、県が市町村をきめ細かく支援していくことが特に求められています。

また、市町村課は県選挙管理委員会事務局として、若者に対する選挙啓発の強化や憲政史上初の県をまたがる合区選挙の実施のために高知県との調整にも鋭意取り組んでいます。

現場での経験を国の施策に反映

私は入省以来、長らく地方分権や地方自治制度の企画・立案にたずさわってきました。この間、北海道、沖縄県南城市、そして徳島県と3度の出向を経験しています。自治体に赴任すると、地域の抱える切実な課題に直面し、解決策を模索していく中で、国の法令や施策が地域の実情に必ずしもあっていないことに気づかされます。私のミッションは徳島県の市町村の発展のために仕事をしていくことはもとより、地方自治の最前線である市町村の実情をつぶさに把握し、総務省に帰任した際には、それらを地方自治の制度づくりに反映させていくことだと思っています。

若い頃から都道府県や市町村で責任あるポストに任せられ、霞が関においては、現場での経験に裏付けられた説得力のある、一步先を見据えた施策を打ち出していくことができる……このこそ、総務省で働くことの醍醐味です。



Private Time

徳島には家族で赴任しています。長女は地元の市立幼稚園に入園し、次女も児童館に通って、大勢の友達を作るなど、地域の皆さんにすっかりお世話になっています。家族で阿波おどりにも参加しました。最近は娘たちから阿波弁が飛び出しています。徳島での生活は娘たちにとってかけがえのない財産となることでしょう。